

I 迷える日本の建築様式

Architectural Style in a Lost Japan

明治から大正にかけて、西洋建築様式が日本に導入され、日本独自の建築様式が誕生しました。この展覧会では、当時の建築資料や模型を通じて、建築の流行を振り返ります。

明治から大正にかけて、西洋建築様式が日本に導入され、日本独自の建築様式が誕生しました。この展覧会では、当時の建築資料や模型を通じて、建築の流行を振り返ります。

明治から大正にかけて、西洋建築様式が日本に導入され、日本独自の建築様式が誕生しました。この展覧会では、当時の建築資料や模型を通じて、建築の流行を振り返ります。

II 大正9年 我々は起つ

Rise Up! 1920

大正9年（1920年）は、日本建築界にとって重要な年でした。この展覧会では、この年に起きた建築界の動きや、建築家たちの活動を紹介しています。

大正9年（1920年）は、日本建築界にとって重要な年でした。この展覧会では、この年に起きた建築界の動きや、建築家たちの活動を紹介しています。

大正9年（1920年）は、日本建築界にとって重要な年でした。この展覧会では、この年に起きた建築界の動きや、建築家たちの活動を紹介しています。

III 彫刻へ向かう手

Toward Sculpture: The Hand

彫刻は、建築の重要な要素の一つです。この展覧会では、彫刻と建築の関係をテーマに、彫刻家たちの作品や、建築家たちの彫刻作品を紹介しています。

彫刻は、建築の重要な要素の一つです。この展覧会では、彫刻と建築の関係をテーマに、彫刻家たちの作品や、建築家たちの彫刻作品を紹介しています。

彫刻は、建築の重要な要素の一つです。この展覧会では、彫刻と建築の関係をテーマに、彫刻家たちの作品や、建築家たちの彫刻作品を紹介しています。

IV 田園へ向かう足

Toward the Rustic: The Foot

田舎の文化や風景を表現する建築。この展覧会では、田舎の建築様式や、田舎の風景を表現する建築を紹介しています。

田舎の文化や風景を表現する建築。この展覧会では、田舎の建築様式や、田舎の風景を表現する建築を紹介しています。

田舎の文化や風景を表現する建築。この展覧会では、田舎の建築様式や、田舎の風景を表現する建築を紹介しています。

V 意匠と構造の意匠

Between Construction and Design

建築は、意匠と構造の両面から成り立ちます。この展覧会では、意匠と構造の関係をテーマに、建築家たちの作品や、建築の意匠と構造を紹介しています。

建築は、意匠と構造の両面から成り立ちます。この展覧会では、意匠と構造の関係をテーマに、建築家たちの作品や、建築の意匠と構造を紹介しています。

建築は、意匠と構造の両面から成り立ちます。この展覧会では、意匠と構造の関係をテーマに、建築家たちの作品や、建築の意匠と構造を紹介しています。

VI 都市から家具へ

From Furniture to the City: Composition of Society

家具と都市の関係をテーマにした展覧会。家具のデザインや、都市のデザインを紹介しています。

家具と都市の関係をテーマにした展覧会。家具のデザインや、都市のデザインを紹介しています。

家具と都市の関係をテーマにした展覧会。家具のデザインや、都市のデザインを紹介しています。

VII 散開 それぞれのモダンニズム

Dispersion: Various Views of Modern Architecture

現代建築の多様な様式や、建築家たちの活動を紹介しています。

現代建築の多様な様式や、建築家たちの活動を紹介しています。

現代建築の多様な様式や、建築家たちの活動を紹介しています。

VIII 建築は芸術か?

Can Architecture Be Art?

建築が芸術であるかどうかをテーマにした展覧会。建築の芸術性や、建築の芸術性を紹介しています。

建築が芸術であるかどうかをテーマにした展覧会。建築の芸術性や、建築の芸術性を紹介しています。

建築が芸術であるかどうかをテーマにした展覧会。建築の芸術性や、建築の芸術性を紹介しています。

IX 分離派建築会 100年展

建築は芸術か?

分離派建築会100周年を記念した展覧会。建築の歴史や、建築の芸術性を紹介しています。

分離派建築会100周年を記念した展覧会。建築の歴史や、建築の芸術性を紹介しています。

分離派建築会100周年を記念した展覧会。建築の歴史や、建築の芸術性を紹介しています。

100 Years of BUNRIHA: Can Architecture Be Art? October 10 - December 15, 2020. Closed = Wednesdays. Hours = 10 a.m. - 6 p.m. (Admittance until 5:30 p.m.). Adults: ¥800. Visitors aged 65 or over carrying proof of age: ¥700. Students (College): ¥600. Students (High / Middle school): ¥400. Admission is free for children, people with disabilities, and accompanying adult. Organized: Panasonic Shiodome Museum of Art, Asahi Shimbun Architects. Sponsors: SHIMIZU ARCHITECTURAL & ENGINEERING FIRM, INC., RESEARCH INSTITUTE OF ARCHITECTURE CO., LTD., YAMADA ARCHITECTS & ENGINEERS INC. Academic support: 100 Years of Bunriha Study Group. Exhibition design: Kimuramaizumi architects office. *The Rouault Gallery is exhibiting works by Georges Rouault from the museum collection. Visitors are welcome to visit the gallery as well. *Upcoming exhibition: Forms for Fragrance - Treasures from the Takasago Collection, January 9th to March 21, 2021. Panasonic Shiodome Museum of Art. 4th Floor, Panasonic Tokyo Shiodome Bldg. 1-5-1 Higashi-Shimbashi, Minato-ku, Tokyo 105-8301. Phone +81(0)3-5541-8000. *45-min. walk from Shinjuku Station of Tokyo Metro Ginza Line, Akasaka Line, and Yamanote Line. *45-min. walk from Oedo Line Shiodome Station. <https://panasonic.co.jp/ls/museum/en/>. Please refer to our website for information on the measures we take to prevent the spread of COVID-19. 東京都港区芝浦三丁目(仮) 1-5-1 松下ビル4階 電話:03-5541-8000

パナソニック 汐留美術館

Panasonic Shiodome Museum of Art ROUAULT GALLERY

〒105-8301 東京都港区芝浦1-5-1 パナソニック汐留ビル4階
お問い合わせ: TEL:03-5541-8800
<https://panasonic.co.jp/ls/museum/>

2020年10月10日(土) 12月15日(火)

10月10日(土) 12月15日(火)
10月10日(土) 12月15日(火)
10月10日(土) 12月15日(火)

1000年展

建築は芸術か?

1000年展
建築は芸術か?
1000年展

我々は起つ。

大正から昭和へ

模索する建築家たち

若き建築家たち

分離派建築会

我々は起つ。

過去建築圈内に眠って居る總のものを目覚さんために溺れつゝ、
ある總のものを救はんがために。
我々は起つ。
我々の此理想の實現のためには我々の總のものを愉悅の中に獻
げ、倒るゝまで死にまでを期して。
我々一同、右を世界に向つて宣言する。

分離派建築会

分離派建築会の宣言

我々は起つ。
過去建築圈内に眠って居る總のものを目覚さんために溺れつゝ、
ある總のものを救はんがために。
我々は起つ。
我々の此理想の實現のためには我々の總のものを愉悅の中に獻
げ、倒るゝまで死にまでを期して。
我々一同、右を世界に向つて宣言する。

分離派建築会

100 Years of BUNRIHA: Can Architecture Be Art?

October 10 - December 15, 2020

Closed = Wednesdays
Hours = 10 a.m. - 6 p.m. (Admittance until 5:30 p.m.)
Adults: ¥800
Visitors aged 65 or over carrying proof of age: ¥700
Students (College): ¥600
Students (High / Middle school): ¥400
Admission is free for children, people with disabilities, and accompanying adult.
Organized: Panasonic Shiodome Museum of Art, Asahi Shimbun Architects.
Sponsors: SHIMIZU ARCHITECTURAL & ENGINEERING FIRM, INC., RESEARCH INSTITUTE OF ARCHITECTURE CO., LTD., YAMADA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.
Academic support: 100 Years of Bunriha Study Group
Exhibition design: Kimuramaizumi architects office
*The Rouault Gallery is exhibiting works by Georges Rouault from the museum collection. Visitors are welcome to visit the gallery as well.
*Upcoming exhibition: Forms for Fragrance - Treasures from the Takasago Collection, January 9th to March 21, 2021.
Panasonic Shiodome Museum of Art
4th Floor, Panasonic Tokyo Shiodome Bldg. 1-5-1 Higashi-Shimbashi, Minato-ku, Tokyo 105-8301. Phone +81(0)3-5541-8000
*45-min. walk from Shinjuku Station of Tokyo Metro Ginza Line, Akasaka Line, and Yamanote Line
*45-min. walk from Oedo Line Shiodome Station
<https://panasonic.co.jp/ls/museum/en/>
Please refer to our website for information on the measures we take to prevent the spread of COVID-19.
東京都港区芝浦三丁目(仮) 1-5-1 松下ビル4階 電話:03-5541-8000

